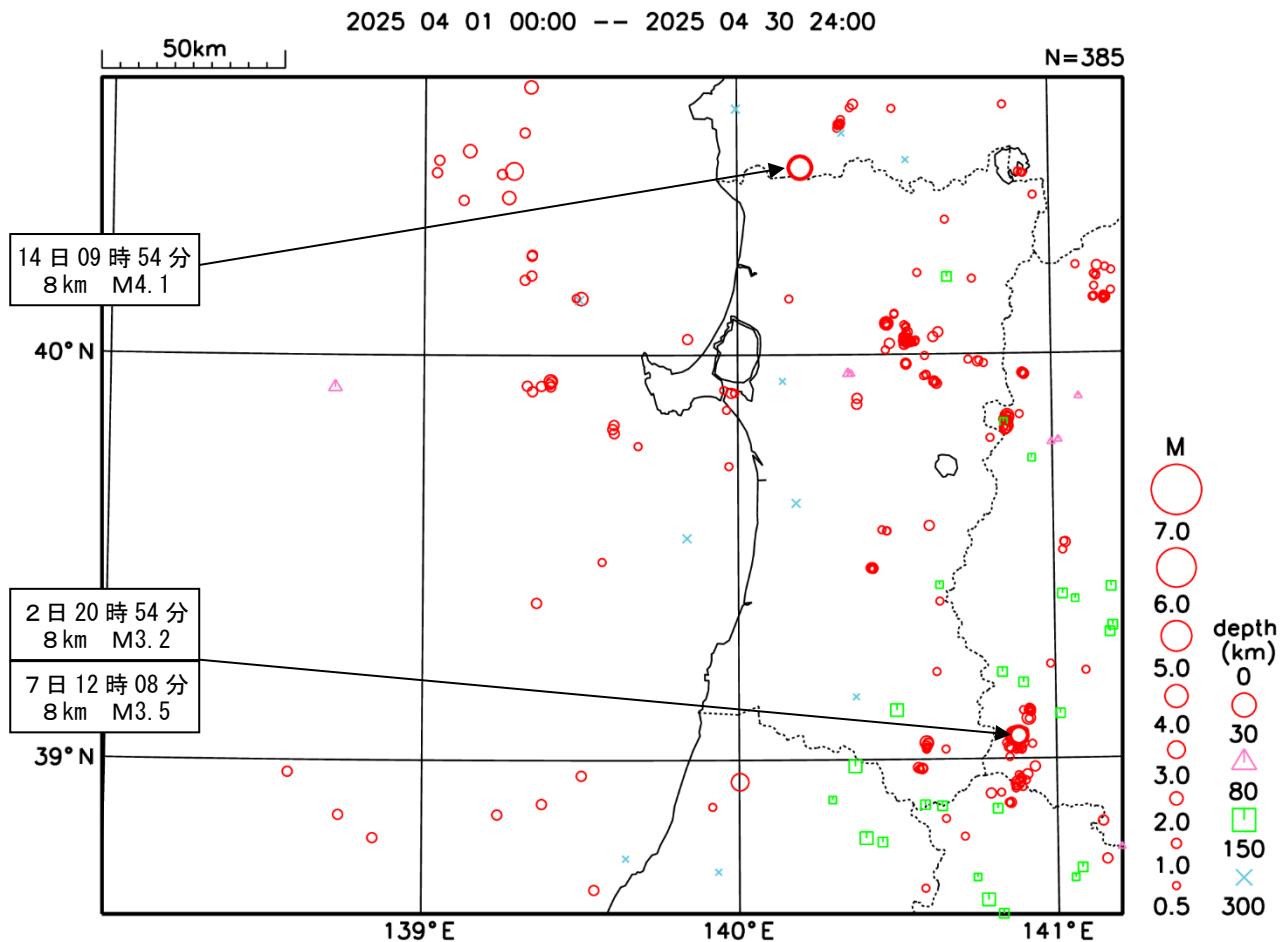


秋田県月間地震概況

秋田地方気象台

2025 年 4 月

【震央分布図】



〈 4 月 の 地 震 概 況 〉

今期間、秋田県内で震度 1 以上を観測した地震は 5 回（3 月：3 回）で、図の範囲内を震源とする地震が 3 回、図の範囲外を震源とする地震が 2 回であった。

2 日 20 時 54 分に岩手県内陸南部の深さ 8 km で M3.2 の地震が発生し、秋田県と宮城県で震度 1 を観測した。県内では東成瀬村で震度 1 を観測した。この地震は、地殻内で発生した。

7 日 12 時 08 分に岩手県内陸南部の深さ 8 km で M3.5 の地震が発生し、岩手県や秋田県、宮城県で震度 1 を観測した。県内では東成瀬村で震度 1 を観測した。この地震は、地殻内で発生した。

14 日 09 時 54 分に青森県津軽南部の深さ 8 km で M4.1 の地震が発生し、青森県と秋田県で震度 2 を観測したほか、岩手県で震度 1 を観測した。県内では、能代市など 4 市町で震度 2 を観測したほか、男鹿市など 7 市町で震度 1 を観測した。この地震は、地殻内で発生した。

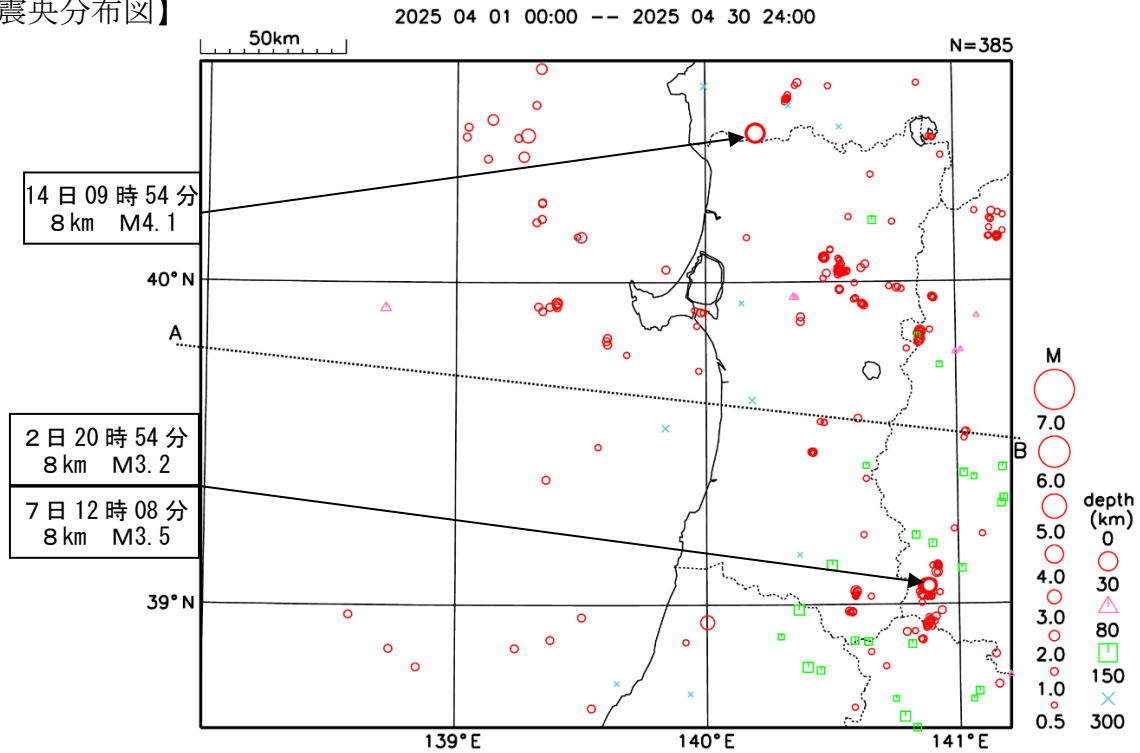
本件に関する問い合わせ先

秋田地方気象台ホームページアドレス

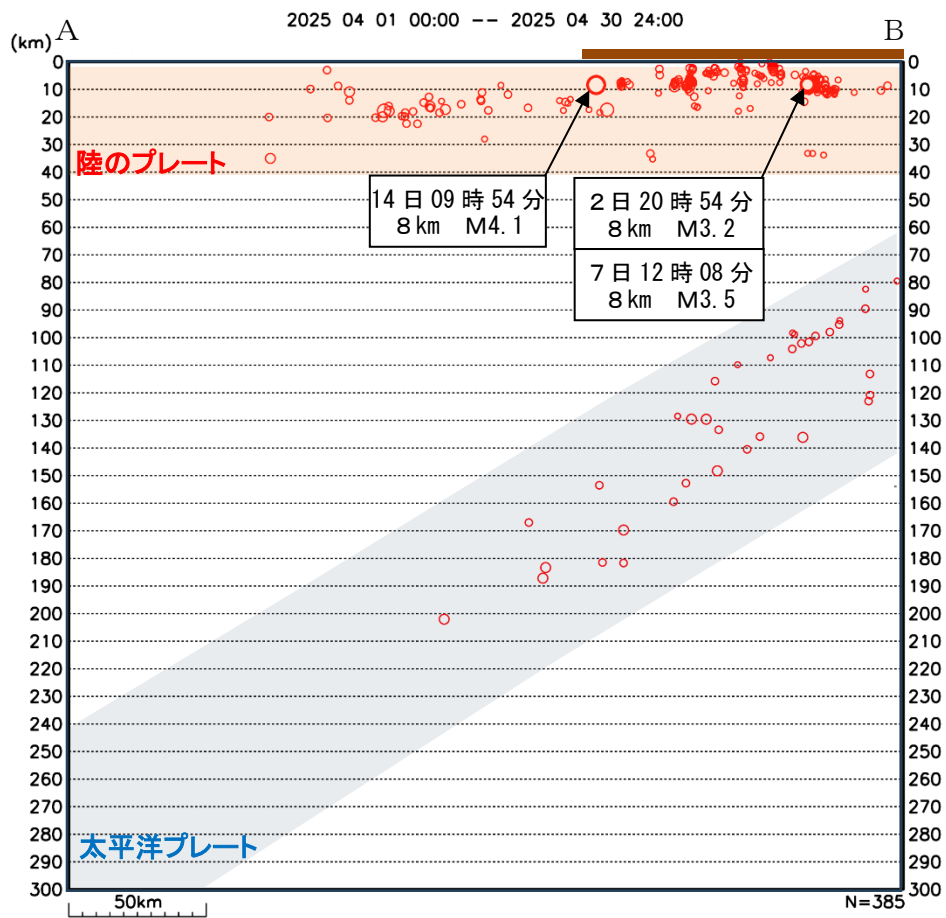
秋田地方気象台 TEL 018-864-3955

<https://www.data.jma.go.jp/akita/>

【震央分布図】



【断面図】（震央分布図内の直線A－Bを断面として投影した震源の深さの分布）



※ 太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ ——— は陸地の大まかな位置を示している。

※ 陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。

なお、海域地殻内の地震の震源（日本海の浅い地震など）は、実際にはより浅いものが多いと考えられる。

秋田県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2025年04月01日～2025年04月30日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2025年04月02日20時54分	岩手県内陸南部	39° 03.3' N	140° 52.1' E	8km	M3.2
秋田県	震度 1：東成瀬村椿川＊				
2025年04月07日12時08分	岩手県内陸南部	39° 03.3' N	140° 52.8' E	8km	M3.5
秋田県	震度 1：東成瀬村椿川＊				
2025年04月10日08時33分	岩手県沿岸南部	39° 07.8' N	141° 50.8' E	63km	M4.4
秋田県	震度 1：大仙市刈和野＊ 大仙市北長野＊				
2025年04月14日09時54分	青森県津軽南部	40° 27.7' N	140° 12.1' E	8km	M4.1
秋田県	震度 2：能代市迫分町＊ 能代市上町＊ 能代市二ツ井町上台＊ 藤里町藤琴＊ 三種町森岳＊ 大館市比内町扇田＊				
	震度 1：能代市緑町 男鹿市角間崎＊ 井川町北川尻＊ 三種町鶴川＊ 八峰町峰浜目名潟＊ 由利本荘市石脇 由利本荘市岩城内道川＊ 大館市比内町味噌内 大館市桜町＊ 大館市早口＊ 鹿角市花輪＊ 小坂町小坂砂森＊ 北秋田市花園町 北秋田市米内沢＊ 北秋田市新田目＊				
2025年04月24日09時07分	岩手県沖	40° 22.2' N	141° 53.8' E	62km	M4.4
秋田県	震度 1：大館市桜町＊ 鹿角市花輪＊ 小坂町小坂砂森＊ 北秋田市花園町				

（注）地震の震源要素等は暫定値であり、再調査により変更することがある。
各地の震度は秋田県のみを示し、＊は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

5月26日は「県民防災の日」です

防災メモ

～「昭和 58 年(1983 年)日本海中部地震」を決して忘れない～

今年の5月26日で「昭和 58 年(1983 年)日本海中部地震」の発生から 42 年になります。秋田県に甚大な被害をもたらしたこの災害を知ることは防災上大切なことです。

秋田県は日本海中部地震の記憶や教訓を風化させないために、秋田県では5月26日を「県民防災の日」と定めています。

毎年5月26日の前後には県内各地で防災訓練が実施されます。最寄りの地域で行われる防災訓練に積極的に参加し、時間とともに風化してしまいがちな防災意識を再び高め、地震・津波から身を守るための行動や備えを再確認しましょう。

【日本海中部地震の概要】

1983 年(昭和 58 年)5月26日 11 時 59 分、秋田県沖でマグニチュード 7.7 の大地震が発生し、秋田市などで震度5を観測しました。地震発生から8分後の 12 時 07 分には青森県の深浦に、12 時 08 分には秋田県の男鹿に津波の第1波が到達しました。津波は日本海沿岸を中心に観測され、気象庁の現地調査では、青森県から男鹿半島にかけて5～6m、北海道奥尻島では3～4m、佐渡、能登半島、隠岐では2～3mに達しました。

この地震・津波により、県内では死者 83 名、負傷者 265 名、住家全半壊 3,764 棟など大きな被害が発生しました。

被害の特徴として津波による被害が大きく、死者のうち 79 名は津波によるものでした(被害状況は、秋田県災害年表による)。

【日本海中部地震についてのホームページ】

秋田地方気象台では、一昨年、日本海中部地震から40年の節目にあわせて、日本海中部地震のホームページをリニューアルしました。地震・津波被害の特徴などの記載を追加し、被害状況の写真や動画等も新たに掲載しています。過去の災害を振り返り、地震・津波への備えを改めて確認していただくために、ご活用ください。

秋田地方気象台 日本海中部地震 https://www.data.jma.go.jp/akita/data/saigai/saigai_tyubu.html



漁船被害〔能代港〕

地震から身を守るために・・・あわてず、まず身の安全を確保する！

- ・ 地震発生直後は、頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する
- ・ あわてて外に飛び出さない
- ・ 揺れている最中にあわてて火を消そうとせず、揺れが落ち着いてから火の始末をする
- ・ 自動販売機やブロック塀の倒壊、看板や割れた窓ガラスの落下に注意する
- ・ 日頃から家具等の転倒・移動防止、ガラスの飛散防止対策をする

津波から身を守るために・・・海辺から離れ、より高い安全な場所を目指して避難する！

- ・ 海岸で強い揺れを感じた時、または弱い揺れでも長い時間揺れを感じた時は、大津波警報、津波警報等の発表を待たずにすぐ避難。また、津波フラッグを見た時もすぐに避難する
- ・ 揺れを感じなくても、大津波警報、津波警報等を見聞きした時は、すぐに避難する
- ・ 避難は、「より遠くへ」よりも「より高い場所」を目指して逃げる
- ・ 津波は、川を遡ってくるので川からも離れる
- ・ 津波は繰り返し襲ってくるので、大津波警報、津波警報等が解除されるまで海岸や川に近づかない

地震・津波の防災リーフレットや、津波防災啓発ビデオは以下のURL（気象庁HP）から入手できます。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/eq/index.html>